















# 就任のご挨拶と課名等変更のお知らせ

医事課長 今泉 一宏



このたび、4月1日付けをもちまして、昭和地区事務部医事課長を拝命いたしました、今泉です。

自宅は太田市で、片道1時間をかけ、毎日通勤しています。

趣味は、週末の低山ハイキングで、県内はもとより、埼玉県の寄居町・小川町周辺、栃木県の足利市・佐野市周辺の、山沿に出発しています。

医事課では、キャッチコピーである「元気で明るく親しまれる医事課」を目指すとともに、医事・医療関係の各種有資格者等による、専門的職能集団を目指す事務組織であるという高い理想を实践するため、この4月から、それまでの医療サービス課から課の名称変更を行うとともに、組織の変更を行いました。

具体的には、病院収入の6割以上を占める入院の診療報酬請求業務について、当院では長い間、業務委託としてきましたが、これを職員化して直轄体制として、医師やコメディカルのみなさんが診療現場で実施した医療行為を、漏らすことなく診療報酬請求につなげ、適正な診療報酬請求業務を目指すこととしました。

併せて、多くの診療報酬請求が発生する手術部や集中治療部、看護部、薬剤部の事務職員について、医事課職員として再配置を行うとともに、一部の係については、有資格者等による補強をいただいています。

国立大学法人化後10年が経過し、大学の主体的改革促進のため、予算の重点的配分や自助努力等が求められ、診療報酬点数の世界では、2025年問題に向け、地域包括ケアの考え方や在宅支援等による機能分化の促進、医療機関の役割分担等が強く求められるなど、時代が大きく変化しています。

病院の理念である、「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。」ことを事務部門として推進する部署であるという自負を持って、課員一同、努力してまいりますので、どうぞ、よろしく申し上げます。